

デマンド型交通(乗合タクシー)の実証実験を行いました!

[問合せ先 長久手市役所安心安全課 電話 0561-56-0611]

結果の詳細は右(二次元コードからアクセス)の市ホームページでも
ご確認いただけます。(随時更新します。)

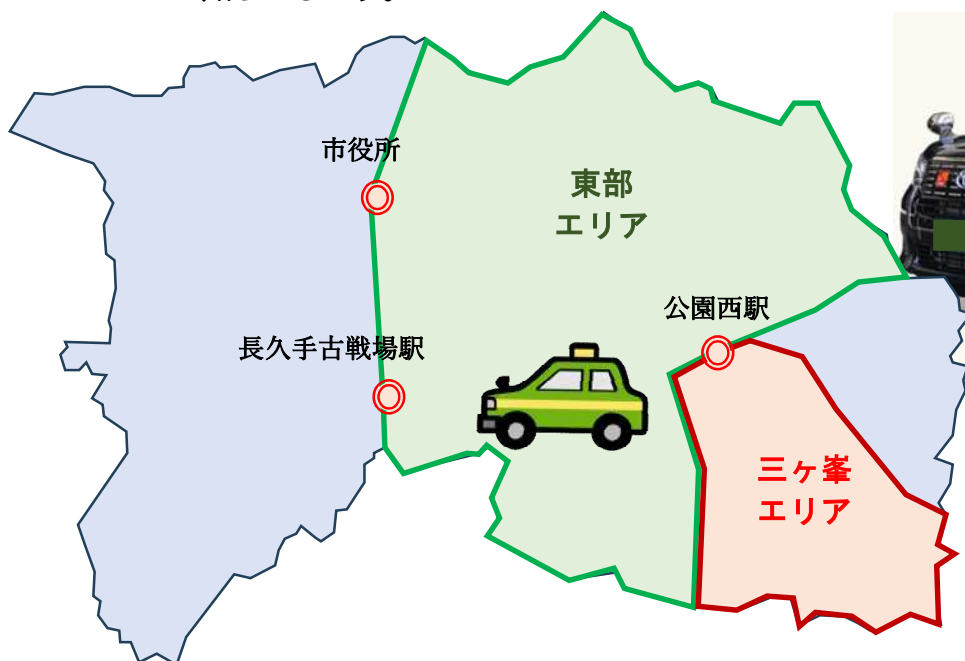


【Plan : 趣旨】

○ デマンド型交通(乗合タクシー)とは、利用したい日時や乗降場所(乗降ポイント)を事前に予約することで、乗合で目的地(降車ポイント)まで運行するサービスです。

○ 市のコミュニティバス“N-バス”は、運行開始から「市内交通空白地帯の解消」や「交通弱者の社会参加の促進」などを目的としてきましたが、東部地域では、現在の利用状況では今後、求められる運行ルートや便数を確保することが困難となります。

そこでこのたび、東部・三ヶ峯エリア(N-バス東部線・三ヶ峯線沿線)にて N-バスに代わる新たな移動手段として、デマンド型交通の実証実験を行ったもので、その結果をお知らせします。



【Do : 実証実験の概要】

期間 令和 6 年 10 月 1 日(火)~11 月 30 日(土)7:30~18:30(期間中毎日運行)

場所 東部・三ヶ峯エリア(N-バス東部線・三ヶ峯線沿線)、停留所:54箇所

運賃 エリア内移動 200 円/人(2 エリア移動 400 円/人)

割引 他の公共交通機関との乗継は、デマンド型交通の運賃が割引(キャンペーン)。

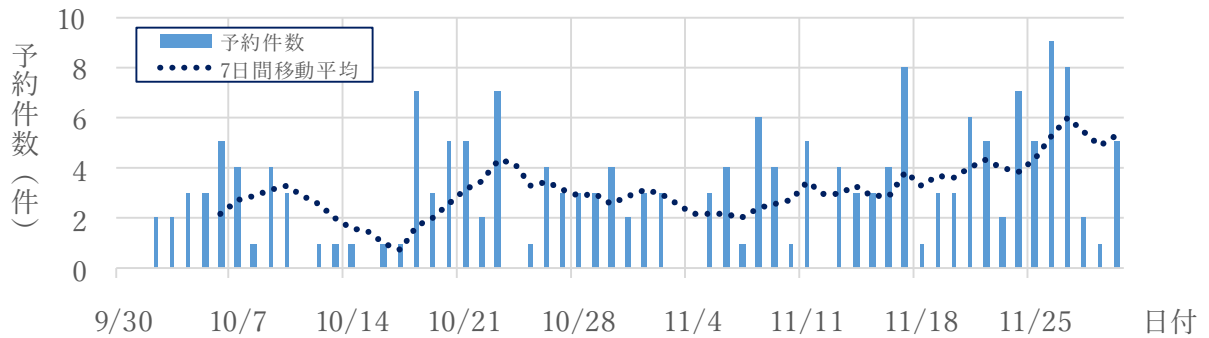
利用 事前登録(電話の場合は不要)→利用予約(電話又は WEB)

【Check : 結果】

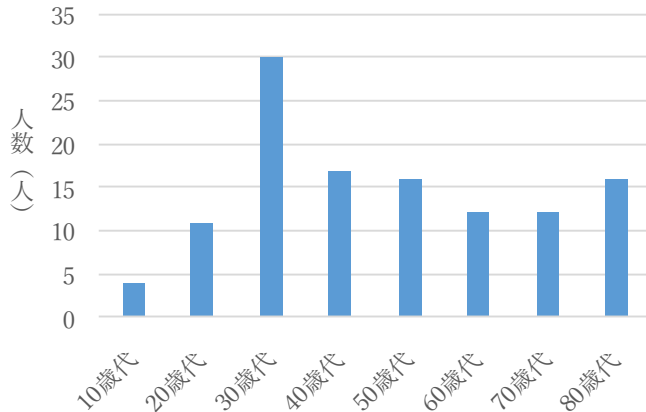
☑ 利用状況

利用登録者:119 人、利用件数:189 件、利用人数:のべ 316 人、乗合数:3 件

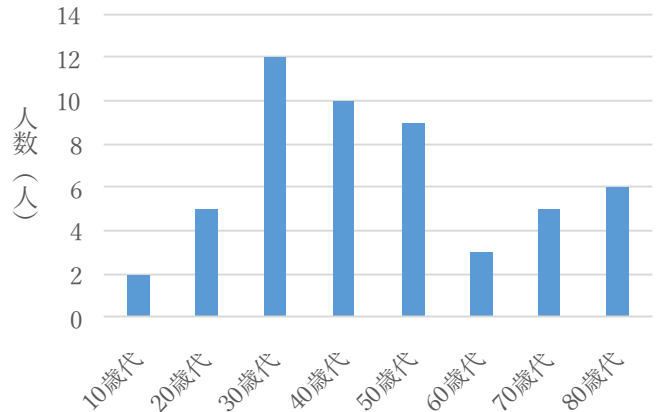
《グラフ:日別の予約件数の推移》



《グラフ:利用登録者の内訳》



《グラフ:1回以上利用者の内訳》



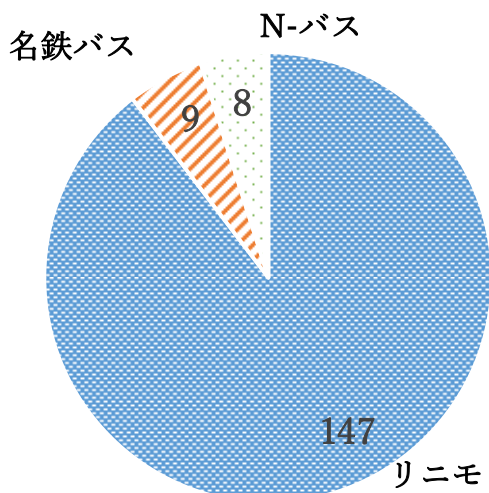
《エリア別の利用状況》

		降車エリア					合計
		東部エリア		三ヶ峯エリア	共通エリア		
			(内、古戦場駅)			(内、公園西駅)	
乗車 エリア	東部エリア	105 [82.0%]	(33) [25.7%]	13 [10.2%]	10 [7.8%]	(7) [5.5%]	128 件
	三ヶ峯エリア	17 [47.2%]	(11) [30.6%]	0 [0.0%]	19 [52.8%]	(18) [50.0%]	36 件
	共通エリア	18 [72.0%]	(2) [8.0%]	7 [28.0%]	0 [0.0%]	(0) [0.0%]	25 件

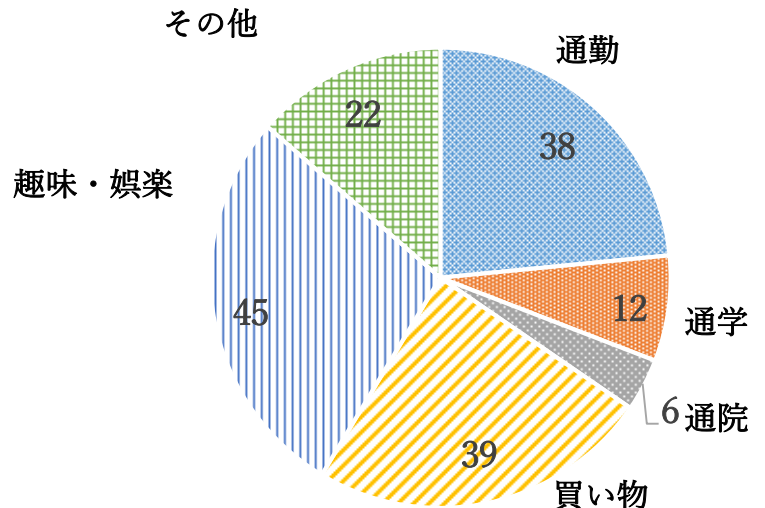
☑ 乗継キャンペーンの利用状況

利用数：110 件（全体 189 件の 58%）、利用人数：のべ 164 人（全体 316 人の 52%）

《グラフ:乗継元/先の交通機関の内訳》



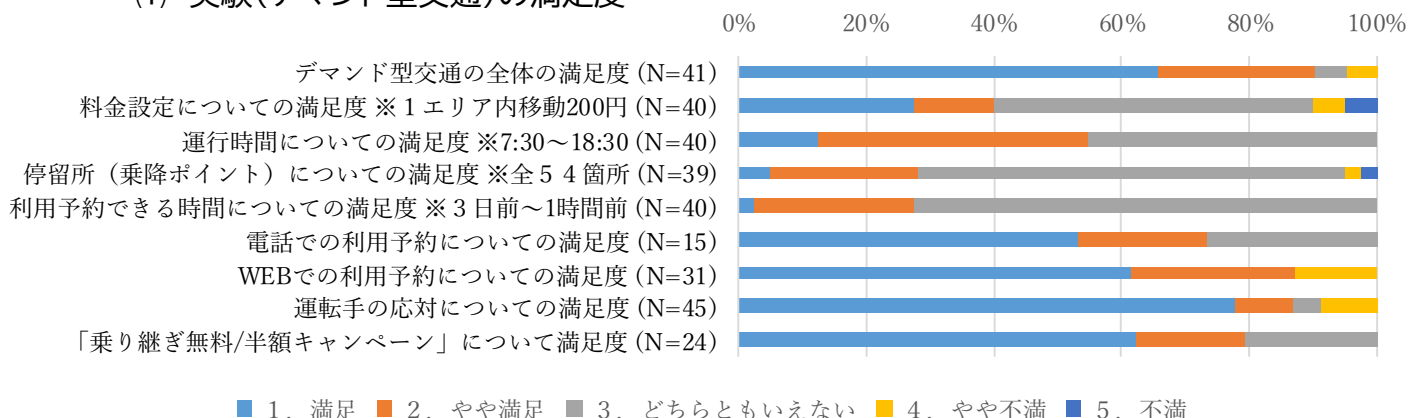
《グラフ:乗継時の利用目的の内訳》



☑ アンケートの結果

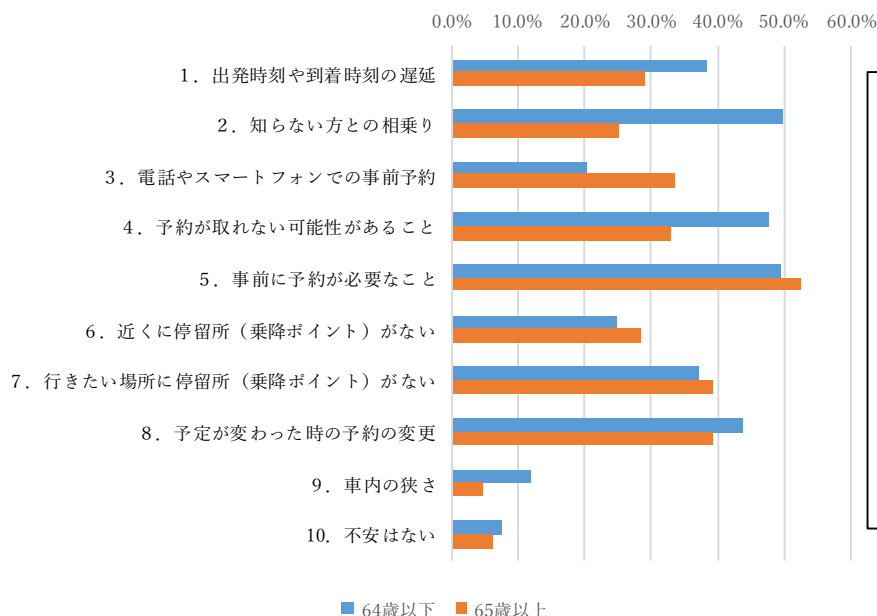
18歳以上の無作為抽出市民 1,500 人(うち東部 1,000 人)、利用登録者、モニターを対象に実験後アンケートを実施しました。

(1) 実験(デマンド型交通)の満足度



- ・全体の満足度は「満足」「やや満足」が90%を超えている
- ・運転手の応対/乗り継ぎキャンペーン/電話での利用予約については、満足度が高い
- ・運行時間/停留所/利用予約できる時間については、満足度がやや低い

(2) デマンド型交通について不安なこと

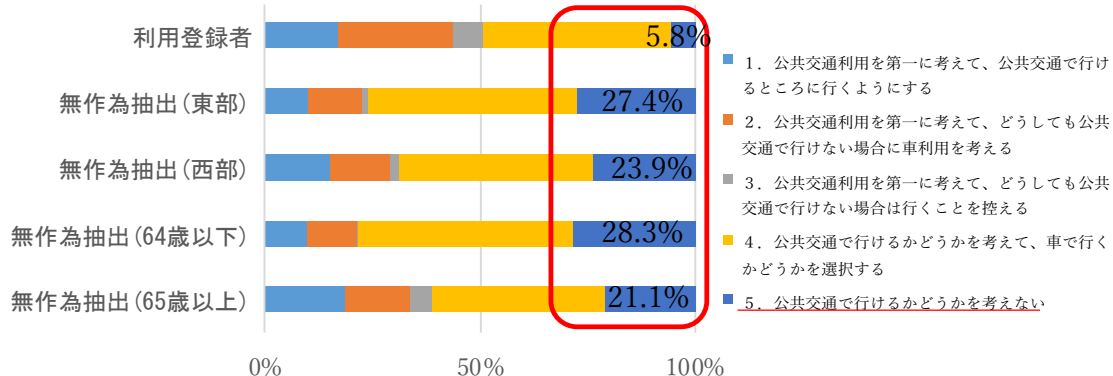


- デマンド型交通について不安なことは、
- ・年齢を問わず、「事前に予約が必要なこと」が多く、次いで「予約の変更」「行きたい場所/近くに停留所がない」が多い
 - ・64歳以下では「出発時刻や到着時刻の遅延」「知らない方との相乗り」「予約が取れない可能性があること」も多い
 - ・65歳以上では、「電話やスマートフォンでの事前予約」も多い

(3) 公共交通の利用意思

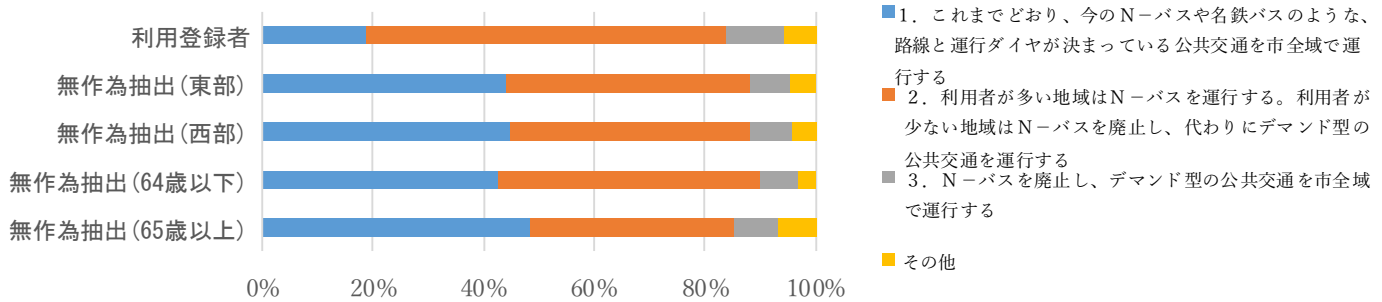
現在と東部地域でデマンド型交通が導入された場合に、徒歩や自転車で行けない離れた所に外出する際の公共交通の利用意思について、比較確認しました。

《グラフ:デマンド型交通が導入された場合の利用意思 ※現在は略》



デマンド型交通が導入されたら「公共交通で行けるかどうかを考えない」人の割合が減少する。

(4) 今後の市内を移動しやすくするために必要な公共交通



無作為抽出の市民からはNバスの存続を望む回答とデマンド型交通の導入を望む回答が拮抗しているが、今回の実証実験の利用登録者からはデマンド型交通の導入を望む回答が多かった

【Action: 今後】

☑ 令和7年度の実証実験の仕様(案)について

期間 令和7年9月中旬～12月中旬(3か月間)、毎日7:30～20:30

⇒ 運行時間の延長を望む声があったため、夕刻の運行時間帯延長を検討する

場所 東部エリア(Nバス東部線沿線)、停留所:43箇所+公募

⇒ 停留所を公募し、事業の周知を図り、身近に捉え、利用につながるよう検討する

⇒ Nバス三ヶ峯線エリア(公園西駅より南側)は対象から除外する

⇒ 昼間限定特別停留所の設定(利用促進キャンペーン)を検討する

運賃 1回200円/人 ※昼間限定特別停留所を設定した場合は加算運賃を検討する

割引 他の公共交通機関との乗継は、デマンド型交通の運賃が100円割引。

利用 事前登録(電話の場合は不要)→30分前までに利用予約(電話又はWEB)

☑ 今後の方向性について(長久手市地域公共交通計画より)

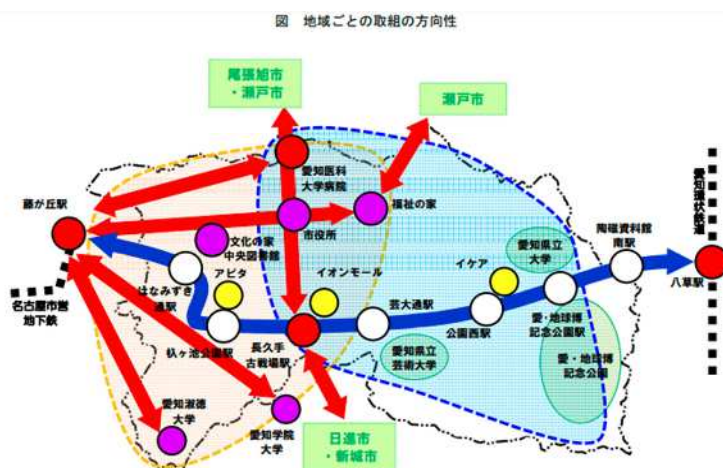


表 計画事業及びその実施主体とスケジュール

計画事業	実施主体	実施時期の目安(年度)				
		2024	2025	2026	2027	2028
(1) 基幹交通(リニモ・名鉄バス)の維持	交通事業者 長久手市					
(2) 地域特性に合った補助交通(Nバス)の確保 ①Nバスの路線見直し ②Nバスと市外の公共交通機関との連携 ③新たな移動手段導入の検討	交通事業者 長久手市 市民	検討			実施・継続	

(1) 地域特性にあった補助交通

市西部地域 利用促進のための路線の充実

市東部地域 Nバスに代わる新たな移動手段としてデマンド型交通導入の検討

(2) スケジュール

Nバスの路線再編 R9年4月に向けR7年度とR8年度で検討

デマンド型交通導入 R9年4月に向けR7年度に2回目の実験、R8年度に検討